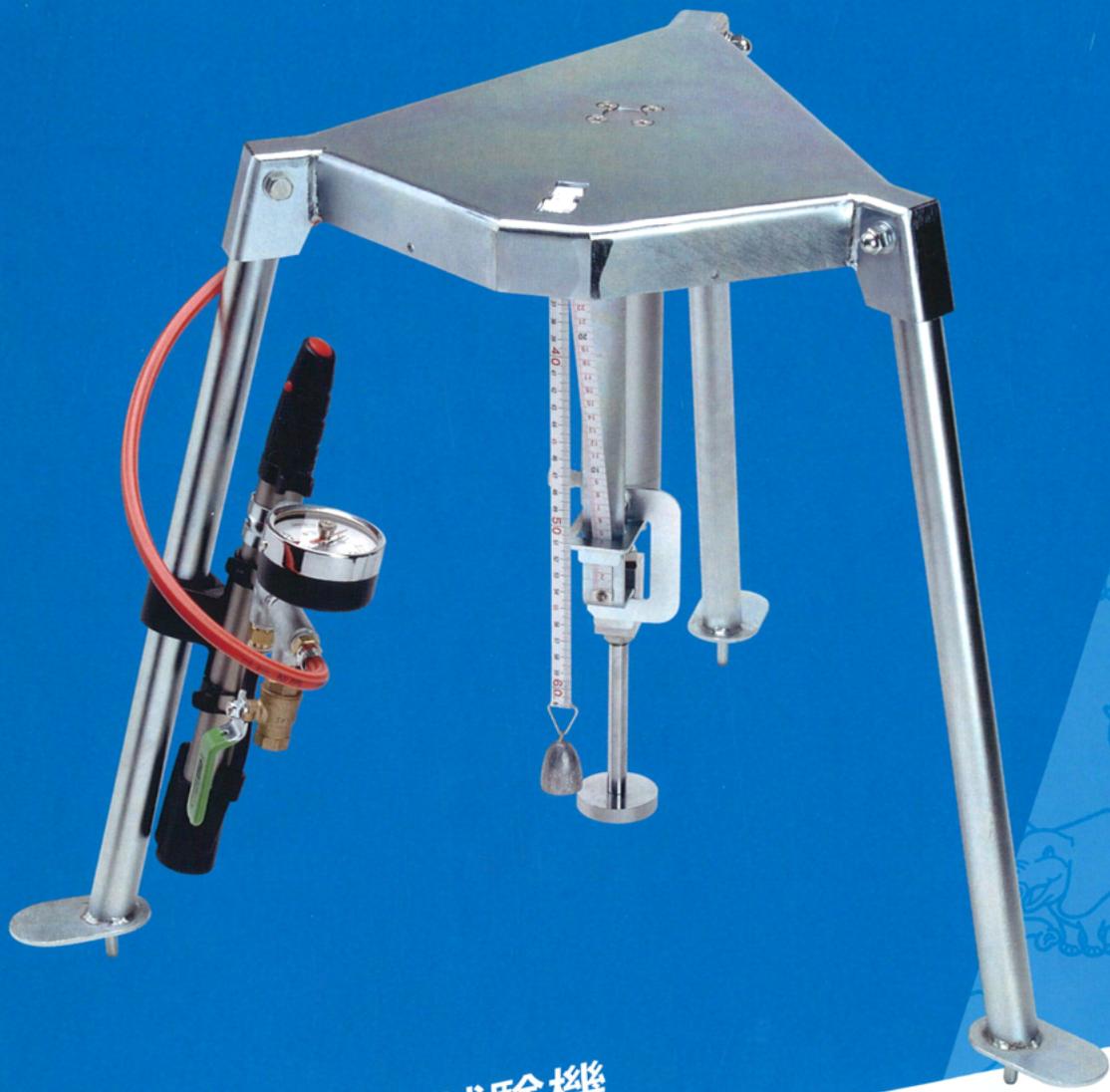


国 交 省
NETIS
(SK-070010)



簡易支持力試験機

ELEFOOT®

エレフット

特許出願中

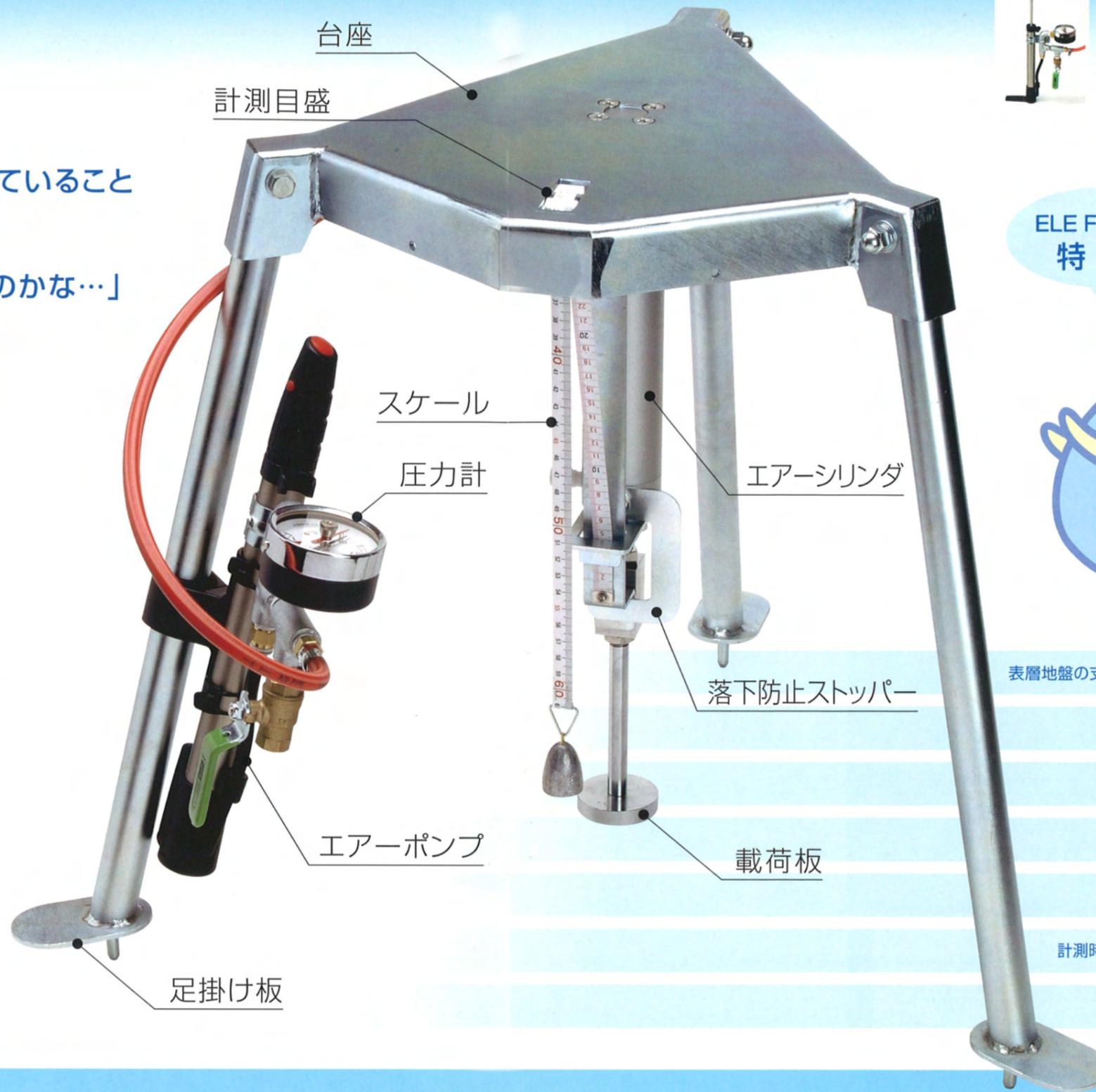


エレフット開発研究会

設計の現場でしばしば問題になっていること
「設計で必要とされる支持力を、
きちんと現場で確認しているのかな…」
施工現場において
しばしば問題になっていること
「支持力の確認をする
時間とお金がほしい…」

代表的な地盤の支持力を計測する試験方法には、平板載荷試験（原位置に剛な載荷板を設置して荷重を与え、この荷重の大きさと載荷板の沈下との関係から地盤の支持力特性を調べる試験JGS1521地盤の平板載荷試験方法）があります。しかしながら平板載荷試験に要する高額な費用や、長時間に及ぶ試験時間の問題などから、比較的小規模な土木工事や緊急を要する土木工事においては全ての現場で平板載荷試験が行われているわけではありません。

本試験機は、設計で考慮した支持力度について、現地施工時に簡易に計測することで、時間と費用を節約し、たとえ小規模な現場であっても「安全」を手に入れることを手助けいたします。



- 表層地盤の支持力を計測するための地盤支持力試験機です。
- 反力として人の体重を利用できます。
- 大きな反力を必要としません。
- 電源装置を必要としません。
- 狭小な場所でも地盤支持力の測定が可能です。
- 計測時間が非常に短く、1名からでも計測が可能です。
- 製品重量が軽く、持ち運びが容易です。

いままで、こんなに大変だった作業が



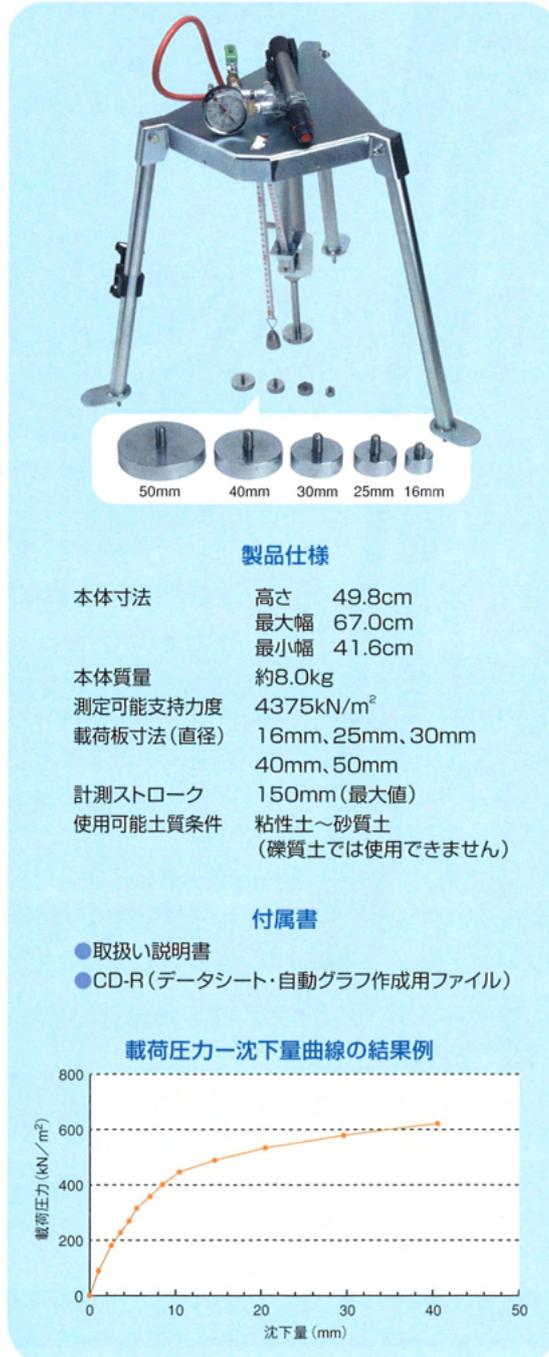
ELE FOOTでは、こんなに手軽に簡単に!!



測定方法と注意事項

- ①試験地盤面と整形し、三脚を水平に固定。
 - ②反力を載せる。
 - ③データを計測する。
 - ④データシートを記入する。
 - ⑤載荷圧力-沈下量曲線を作成する。
 - ⑥計測結果を考察する。
- 載荷板の下に手や足などを挟まないようにご注意ください。
 - 十分な反力を載せてご使用ください。

簡易支持力試験機



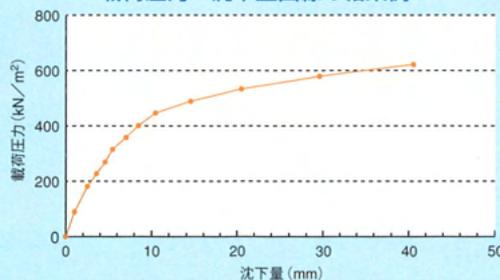
製品仕様

本体寸法	高さ 49.8cm 最大幅 67.0cm 最小幅 41.6cm
本体質量	約8.0kg
測定可能支持力度	4375kN/m ²
載荷板寸法(直径)	16mm、25mm、30mm 40mm、50mm
計測ストローク	150mm(最大値)
使用可能土質条件	粘性土～砂質土 (礫質土では使用できません)

付属書

- 取扱い説明書
- CD-R(データシート・自動グラフ作成用ファイル)

載荷圧力-沈下量曲線の結果例



- 本内容については予告なく変更する場合があります。御了承ください。
- 使用の際には取扱い説明書をよく読み、正しい方法でご使用ください。

エレフット開発研究会

ランデックス工業株式会社

〒761-8076 香川県高松市多肥上町316-1

TEL 087-815-5222

FAX 087-815-5001

代理店



山田産業株式会社

YAMADA INDUSTRY CONCRETE FACTORY CO-LTD

北海道砂川市吉野2条北3丁目

TEL.0125-52-2108(代) FAX.0125-52-2407